

「企業等と連携した木育推進方策」の概要

I 方策の位置付け

【策定の趣旨】

企業等が主体となった木育活動が一層進むよう、地域の関係者が一体となって取り組むための具体的な方策や目標を策定。

※取組期間：令和5年7月（策定見込み）～令和13年度（現行の「北海道森林づくり基本計画」終了年）

【策定の背景】

「北海道森林づくり基本計画」(2022～2031)並びに「北海道森林吸収源対策推進計画」(2022～2030)を踏まえ、木育マイスターや企業などによる木育活動の推進に重点的に取り組むため、新たに推進方策を策定。

II 現状と課題

【企業等による木育活動の実施状況】

- 「ほっかいどう企業の森林づくり」(以下「企業の森林づくり」という。)に参画する企業等が増加しており、令和4年度末までに65件の協定が締結され、1,000haを超える森林整備を実施。
- 企業等が木育マイスターと連携し、CSR活動の一環として主体的に木育イベントを開催(R4:78件)。
- 積丹町や釧路市など、企業等と市町村が連携し、木育活動を通じて林業・木材産業の振興を図るとともに、都市と山村地域との交流を促進。



【当面の課題】

- 木育活動への更なる参画を促すため、道内外の企業等に対して、木育活動による企業イメージの向上や集客効果などのメリットをPRするとともに、「企業の森林づくり」などの木育活動が地域に与える効果について、市町村等の理解の促進を図ることが必要。
- 「企業の森林づくり」活動をサポートできる人材の育成・確保や、木育マイスターが円滑に活動を実施できる体制整備を進めるとともに、企業等と地域の双方のニーズを踏まえた活動の提案が必要。

III 方策

1 基本的な考え方

木育活動に関する情報を各種媒体により積極的に発信するとともに、「企業の森林づくり」活動を支援する人材の育成・確保、木育マイスターのネットワーク化等を進め、企業等による活動の促進を図る。

■目標指標

区分	現状(R4)	目標(R13)
「企業の森林づくり」協定締結数(延べ数)	65件	130件
「森林づくりコーディネーター」の登録者数	9名	80名

2 具体的な展開方向

(1) 情報の発信・共有

- マニュアルや普及啓発冊子、SNS等による情報発信やノベルティ配布等による企業等への積極的な働きかけ

(2) 森林づくり活動への参加促進

- 活動を支援する森林づくりコーディネーターの登録と育成
- 企業等や市町村のニーズを踏まえた活動の提案
- 活動フィールドの確保

(3) 木育イベントへの参加促進

- 木育プログラムの提案や実施のサポート
- 木育マイスターの育成・スキルアップ・ネットワーク化の促進、森林環境譲与税等を活用した木育イベントへの支援等

(4) 多様な木育活動の企画・提案

- 森林由来クレジットの購入やグリーンワーケーションの実施、「企業版ふるさと納税」による活動の支援、「HOKKAIDO WOOD」の需要拡大の取組などの提案

IV 推進体制

- 地域の関係者が適切な役割分担のもとで各種取組を推進。
- 企業や市町村等で構成する「ほっかいどう企業の森林づくり推進協議会」を定期的開催し、企業等のニーズの把握や参画企業拡大策の検討、本方策に基づく取組状況の把握や成果の検証、今後の課題・対応方向を協議。
- ホームページ上に企業等の相談を受け付ける問合せフォームを作成し、関連情報を掲載するなど、ワンストップの相談体制を整備。